

部門名	一般建築工事（小規模）
案件名	松江フォーゲルパークセンターハウス女子トイレ改修（建築）工事
工期（始）	令和4年10月6日
工期（終）	令和5年2月28日
場所	大垣町
事業者名	一畑工業株式会社
代表者名	代表取締役社長 高井 由起夫
技術者役職	主任技術者
技術者名	松浦 孝夫
工事概要	松江フォーゲルパークセンターハウス女子トイレの改修。 （便器17穴→10穴に変更、土間全面工事、仮設トイレ設置工事）
表彰理由	本工事は、松江フォーゲルパークセンターハウス女子トイレの改修工事を行ったものである。施設を利用しながらの工事であったが、施設管理者との適切な協議により、工程管理・安全管理を実施した。また既存基礎状況を調査した結果、基礎ベースが無いもしくは柱型のスパンが大きい状況であったが、状況を良く把握のうえでの既存布基礎補強や、平面の変更など積極的な施工提案や工夫もあり、工期も遅れることなく完成させた。全体として優良な工事であった。

本工事の表彰技術者である、一畑工業株式会社の主任技術者（当時）松浦孝夫氏は受賞の感想を「現役を離れて十数年経ちますが、前職で長い間公共工事の施工に携わってきたなかで、松江市における優良建設工事表彰はありませんでした。この度、高齢になって受賞したことは、大変光栄なことで感無量です。」と話す。



本工事で心掛けたことは「施設担当者、監督員の方が不安にならないよう、また、痒いところに手の届く、工夫を凝らした技術の提案を協議したうえで施工に移し、結果を引き出すことにより信頼関係を高めることです。」と語る。また、工事へのこだわりとしては「協力業者みんながWINWINとなり得る作業日程の調整、段取りと作業員の方がより良い環境で施工にあたるよう、有用なことには費用を惜しまないことです。」と語った。



松浦氏は仕事における今後の目標は「最近特に建設業

界に働く若者の多くは、その社内、現場において他と社会的に交わり、連携して仕事を進めることを不得意としているように見受けられます。コミュニケーション力を高め連携を取ることが、作業効率を高めることだけでなく安全管理にも繋がるであろうことから、そういった方向づけ、動機付けへの指導が出来ればと思います。」やりがいについては「何もなかった更地の現場に建物が完成したとき、自分の仕事の価値を実感できる。また、ものづくりにおける大きな達成感が味わえる職業とよく言われます。が、昭和的かもしれませんが、個人でなくチームとして協力し合って取り組むプロジェクト達成に知恵を絞りながら仲間と共に汗を流し、『良いものを造り上げる』という目的に向かって進んでいく喜びを享受できる職業と思います。」と話す。

これから建設業界を目指す人へは「顧客要望と満足を実現する為、現場の作業員を束ね、工程・品質・安全などの施工管理をする大事な役目を担う技術者として、何でも聞き入れられる素直な性格、根回し上手で高いコミュニケーション力を持ち合わせた人財に成長してもらいたい。」とメッセージを送った。

最後に、松浦氏が勤務する一畑工業株式会社について紹介してもらいました。

「一畑工業株式会社では、若手技術者を登用、将来のあるべきビジョンを見据えたうえで、常に新たなより良いアイテムを取り入れ、また、失敗を恐れず日々前進しようとする気概を持った風通しの良い組織であり、仮にしくじっても皆で検証し、プラスと捉えて次に繋げる企業です。」



一畑工業株式会社
(写真左) 代表取締役社長 高井氏
(写真右) 主任技術者 松浦氏